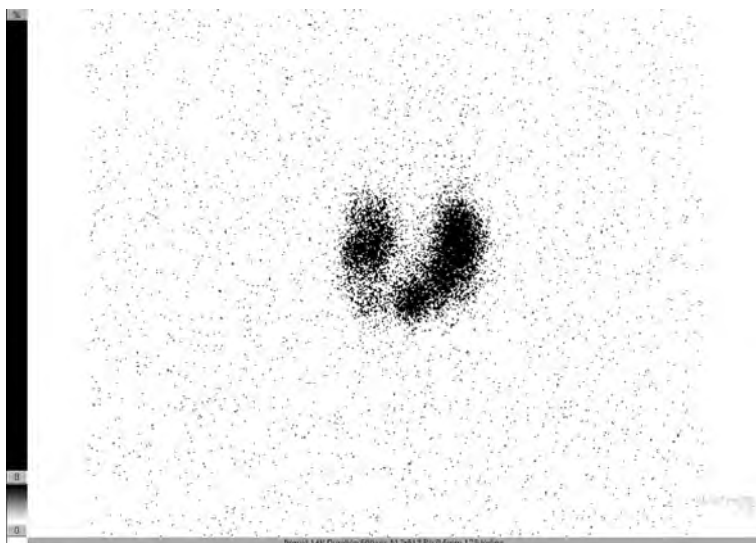
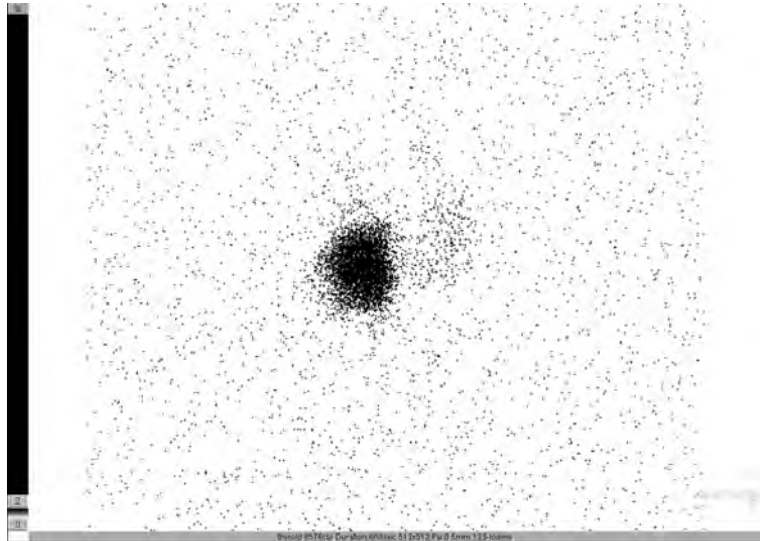


① Basedow 病のシンチグラフィ



② 中毒性多結節性甲状腺腫のシンチグラフィ



③ 中毒性単結節性甲状腺腫のシンチグラフィ

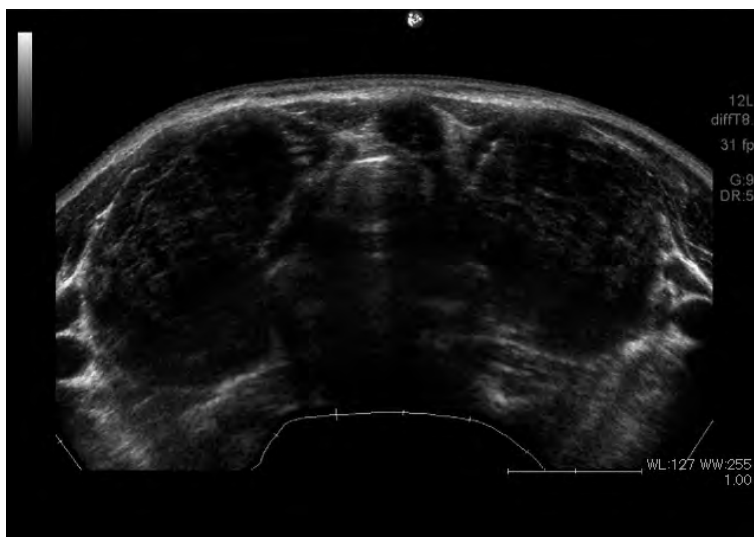


④ 無痛性甲状腺炎のシンチグラフィ



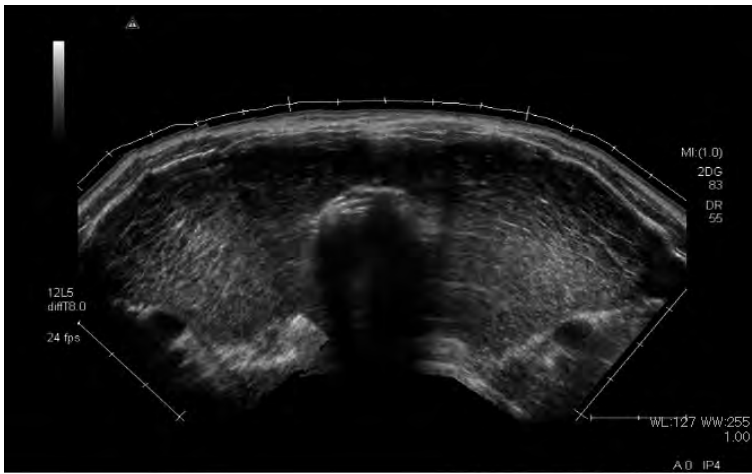
5 腺腫様甲状腺腫の超音波像

一般的に，形状は円形から橢円形，境界明瞭である．内部エコーレベルは等～低とさまざまである．内部の正常はほとんど嚢胞が占め，壁の一部に充実部を認めるものから，充実部のみで構成されるものまで，多彩な超音波像を示す．



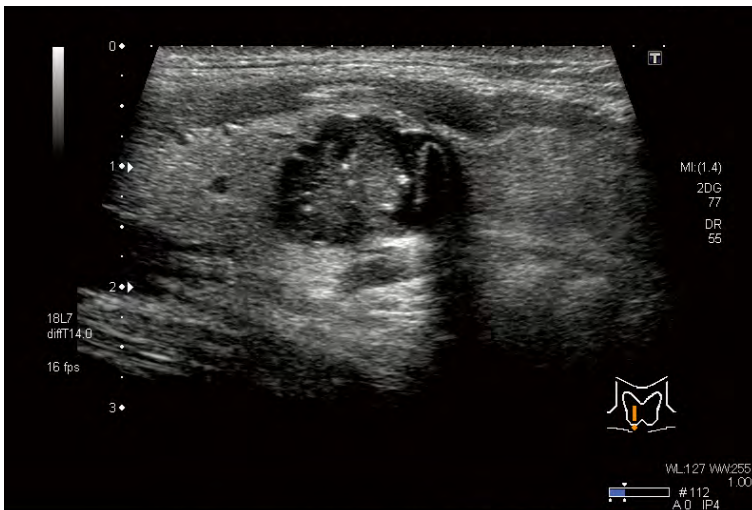
6 橋本病の超音波像

甲状腺はびまん性に腫大し，表面が凹凸，内部エコーレベルは低下し不均質なことが多い．末期の橋本病では，甲状腺が萎縮してくることがある．しかし，病態と同様に超音波像は多彩であり，超音波画像からの診断は困難なこともある．



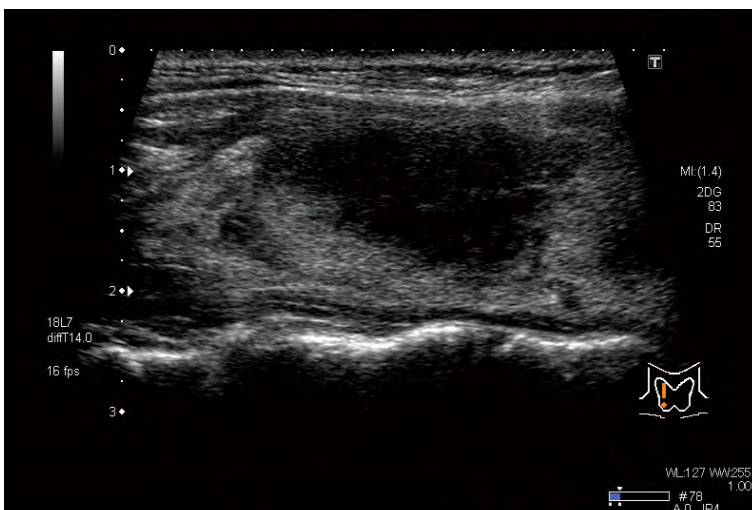
7 Basedow 病の超音波像

甲状腺はびまん性に腫大し、表面が平滑、内部エコーレベルは低下し不均質なことが多い。未治療の Basedow 病ではびまん性に著明な血流信号の増加を認める。しかし、病態と同様に超音波像は多彩であり、超音波画像からの診断は困難なこともある。



8 甲状腺乳頭癌の超音波像

形状は不整、境界は不明瞭粗雑、内部エコーレベルは低く不均質である。内部に微細多発高エコーが特徴的に存在することもある。しかし、10 mm 以下の微小乳頭癌は境界が平滑で高エコーを伴わないことがあり、検査時には注意が必要である。



9 亜急性甲状腺炎の超音波像

圧痛部に一致して、低エコー域を認める。低エコー域は境界不明瞭で、内部エコーは不均質である。カラードブラ法では中毒症状の時期には低エコー域には血流は認めないことが多い。また、経過とともに対側葉に出現することがある（クリーピング現象）。